



もがみ 仕事の魅力



2022
Vol.9
10月

通信

「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取り組みをお知らせする通信です。

保護者のための進路セミナー @新庄北高等学校

9月15日、新庄北高等学校の生徒及び保護者を対象に、進路セミナーを開催しました。約40名の保護者にご参加いただきました。

保護者向けセミナーでは、山形大学学術研究院の松坂暢浩准教授から、「高校生の進路選択 親が子どもにできること」と題し、大学生の採用と就職活動の現状、企業が求める人材などについてお話いただきました。

山形航空電子(株)、(株)JPD 様にご参加いただいたトークセッションでは、「熱意があれば、場合によってはその人用に新しい仕事を作り採用することもある。」「熱意・意欲、行動力・実行力、チームワーク力、基礎学力、高い倫理観がある学生を採用したい。」といった企業の生の声が聞かれました。

新庄商工会議所からは、「新庄・最上の企業について『B to B で大企業と取引がある会社』、『研究職などの大学生が希望する職種』も皆さんが思っている以上にある。進学先の進路で地元での就職にも目を向けてもらいたい。」と話がありました。



生徒向け進路講演会
OB ゲスト

山形航空電子(株)
羽賀 和輝 さん



山形航空電子(株)
総務部長
菊地 暢義 さん



(株)JPD
常務取締役
赤川 健一 さん



新庄商工会議所
企画支援課係長
伊藤 允 さん

★保護者向け進路セミナー企業代表ゲスト★

★進路選択のポイント★

- ✓働くこと・生きることにする価値観である『**内的キャリア**』が重要。
- ✓親ができることは、**子どもの話の『傾聴』**。すぐに親の考え・答えを言わず、良し悪しを判断しないまま受け止め、本人がその先の考えを言い出すまで待つこと。
- ✓最上地域で就職、という『**公務員**』というイメージが強いが、公務員試験も倍率的には狭き門。**企業選択の幅を広げるには、『B to B』(企業間取引)企業に目を向けること。**
- ✓学生と企業で『採用するときの重視項目』にズレがあることを認識すること。



山形大学学術研究院
松坂暢浩 准教授

同日、1年生を対象に松坂先生と企業による進路講演会も行いました！

- ★キャリアを考える上で「どのように【生きていくのか】、【働いていくのか】、【学んでいくのか】」を問いかけ、自分が『**できること**』、『**やりたいこと**』を知る。
- ★やりたいことは「**知っていること**」の中からしか選べない。視野を広げ、まずは『**知っていること**』を増やすよう情報収集すること。
- ★山形県には魅力的な企業が多く、その多くが『**B to B(企業間取引)**』の企業。そういう視点で企業情報を収集したらよい。
- ★大学の研究課程で『**答えのない問題を考える**』こと、『**考える力**』が役に立つ。



セミナーに参加いただいた保護者の皆さんの感想

- ★あらためて新庄の魅力を知ることができてよかった。
- ★いろいろな仕事があるということ、「最上もいいよね。」って話題にしていきたいと思いました。
- ★職業を意識して進学先も考える必要性を実感しました。
- ★知らなかったことや親の目線でも企業の魅力がよく分かったのでもって有意義でした。
- ★B to B(企業間取引)という視点を持って進路について考えていきたいと思いました。

